2023年6月～

# 外来診療担当医表

（※予約優先）

≪午前診療≫9:00 ～ 12:30

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|
| 整形外科 | 整形外科 | 整形外科 | 整形外科 | 整形外科 | 整形外科 |
| 乾 義弘<br>（脊椎） | 岩城 啓好<br>（膝・股関節）（9:30～） | 乾 義弘<br>（脊椎） | 槇 孝俊<br>（膝・股関節） | 乾 義弘<br>（脊椎） | 乾（第1週）<br>松川（第2週）<br>槇（第3週）<br>松川・谷口（第4週）<br>岩城（第5週） |
| 松川 哲也<br>（肩・膝・スポーツ整形） | 谷口 慎一<br>（膝・股関節） | 槇 孝俊<br>（膝・股関節） | 貝澤 幸俊<br>（手・肘外科） | 松川 哲也<br>（肩・膝・スポーツ整形） | |
| | | 川村 和哉<br>（肩関節） | | | |
| | 内科 | | | 内科 | |
| | 外来担当医 | | | 外来担当医 | |

≪午後診療≫13:30 ～ 17:00

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|
| 整形外科 | 整形外科 | 整形外科 | 整形外科 | 整形外科 | 整形外科 |
| 松川 哲也<br>（肩・膝・スポーツ整形）<br>（診察終了15:00） | 岩城 啓好<br>（膝・股関節）<br>（診察終了16:30） | 松川 哲也<br>（肩・膝・スポーツ整形） | 岩城 啓好<br>（膝・股関節） | 乾 義弘<br>（脊椎） | 整形医員<br>（時間外診療） |
| 谷口 慎一<br>（膝・股関節）（14:30～） | 槇 孝俊<br>（膝・股関節） | 澁谷 秀幸<br>（リウマチ）（16:00～） | 槇 孝俊<br>（膝・股関節） | 谷口 慎一<br>（膝・股関節）（15:00～） | |
| | 谷口 慎一<br>（膝・股関節） | | | | |
| 内科 | | 内科 | 内科 | 内科 | |
| 外来担当医 | | 西谷 真人 | 外来担当医 | 名越 良治<br>（循環器内科）（15:00～） | |

| ≪リハビリテーション≫ | 平日 | | 土曜日 | 日曜日・祝日・年末年始 |
|---|---|---|---|---|
| | 午前診療 | 9:00～12:00 | 9:00～12:00 | 休診します |
| | 午後診療 | 13:00～17:00 | 休診します | |

※ 日曜日・祝日・年末年始は休診しますが、時間外診療・救急外来（整形外科のみ）は、24時間受付します。

※ 出張・緊急手術等により担当医が交代または休診することがあります。

（院内掲示およびホームページでお知らせいたします。）


大阪整形外科病院
Osaka Orthopedic Hospital

《病院ホームページ》

《 LINE公式
アカウント》

［予約専用ダイヤル］0120－114－109
平日9:00～17:00 土曜日9:00～13:00
※050から始まる電話番号はご利用になれません。
［上記以外お問合せ］06－6463－1111㈹



【発行責任】総務課広報室


だい せい こう
# 大整広

Be smiling! All is well!



# 50周年


Vol.5 夏号
2023年
大阪整形外科病院　広報誌

## 病院の広さは、15倍に！





3,500平米から
5,400平米に

旧病院は、地下1階から6階の建物で、病棟は３階～5階でした。
現在、病棟は4階～6階になっており、移転当初、病棟の話になると頭がこんがらがった記憶があります。

旧病院

病床数は、旧病院と同じく98床で移転。
病室は、患者様お一人当たりのスペースが広くなり、お手洗いや浴室数も増えました！
旧病院で入院されていた方には、大変ご迷惑をおかけしましたーーー！



現在

### 外観



広さ 3 倍に

100平米から、300平米にパワーアップ

旧病院のリハビリ室は、地下1階に存在し窓がなかったため、日差しの入らないお部屋でした。隣には栄養科の調理室があり、いい匂いが漂う狭い、せまーーいリハビリ室でした。
現在は、2階に移動し、大きな窓がお部屋の3分の１を占め、お日様がいっぱい差し込むステキなリハビリ室に変身しています。



### リハビリテーション室






旧病院は、リフォームにリフォームを重ね、中待合いの3診察と4診察の間に壁がありました。今は、スッキリすべて通り抜け可。待合いのソファを新調し、モニターを設置しました。みなさん、どうですか??

診察室 6 室に増えました。

待合い



医療法人 啓信会
# 中之島いわき病院
NAKANOSHIMA IWAKI HOSPITAL

### ロゴと病院名

**ロゴが変わったの、ご存じですか？**

以前は、堂島川沿いにあったため、川をモチーフにしたデザインでした。
今回は、無限の可能性と進化を秘めたデザインとなっています。
引き続き、病院の成長を見届けてください!!

大阪整形外科病院
Osaka Orthopedic Hospital

# 10周年

節目を迎え、過去に

## タイムスリップ

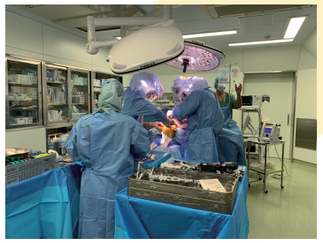
旧病院をご存じの方は、
すこし懐かしく感じるのではないでしょうか。
今と昔の違いを振り返ります！




### 手術件数

770件（2014年）から、約2,000件（2022年）

wow





手術件数は、年を重ねる毎に増加し、
人工膝・股関節置換術においては、

大阪1ばん

手術室 2 室

当時は、辛気臭い色の手術室でした。
現在は、ピンク・ブルー・オレンジの3室で、とても明るい手術室になっています。



手術室 3 室

遷進してきた１０年。
これからも挑戦と成長を続けていく。

理事長・院長　岩城（いわき）　啓好（ひろよし）

## 皆様に感謝しかありません

月日が経つのは早いもので2013年夏、医療法人手島会の理事長に就任、8月1日に医療法人啓信会 中之島いわき病院を設立（開院）しました。
2020年には大阪整形外科病院として生まれ変わり、私が法人経営を始めて、早10年を迎えました。
これもひとえに支持していただいている患者様、周りの医療関係者の皆様、そして日々忙しく働く職員の皆様のご協力の賜物と感謝しております。

## 振り返ると、走り抜けた１０年

2013年開院後、まず初めにおこなったのは外来診察室の改装でした。
2室しかなかった診察室を5室へ増設し、同時に医師事務作業補助者（DA）の導入を行い、より効率的な外来診療が可能になりました。同時に急性期の手術を必要とする多くの患者様を受け入れる為、療養病床から急性期病床へ病床機能の転換と個室の導入を行い、病院のコンセプトである「早く治す病院」へ前進致しました。
中之島いわき病院をより多くの方に知っていただくため、市民健康講座など定期的な講演会の開催も始めました。
2013年の診察室改装から、2014年の手術室の増設、CTやレントゲン機器、DEXA(骨粗しょう症検査)機器の導入、そして2015年にはオープン型MRI機器の導入、急性期病棟改修・改築工事で足早に過ぎた3年間でした。
特にMRI機器の導入は整形外科診断には必須でした。
これまでは、外部の医療機関に検査を依頼しており、診断に時間がかかってしまっていたので、この問題点が改善されたことは患者様にとっても、私をはじめとし働く医師らにとっても喜ばしいことでした。
また、この怒涛の3年間の間に、タイ・カンボジア・オーストラリア・シンガポール等、多数の国で手術の腕を磨き、後進を育てていた矢先に新型コロナウイルスが世界的に流行。どこに行くにも移動の制限がかかり、研修のみでなく、院内の行事も中止せざるおえなくなりました。
しかし、その期間中も膝や股関節の痛み、事故による外傷の患者様が減るはずもなく、手術に待ったがかかるどころか、近畿のみならず全国から患者様が来院してくださいました。

## 新築移転の実現

コロナ禍真っ盛りのなか、中之島いわき病院の耐震対応のため、2019年より新たな地で新病院の建設開始。
2020年に『大阪整形外科病院』に名称変更し、新築移転。
手術室を3室備え、最新のMRI機器を導入、リハビリ庭園を備え、医療環境のバージョンアップを図りました。
翌年にはサテライトクリニックとして中之島いわき整形外科を開院する運びとなりました。
医師の数もさることながら 、手術後の365日リハビリのため、理学療法士も当初7人だったのが、現在41人在籍しており、2015年度の年間手術症例数は927件でしたが、2022年度は1,965件へと飛躍しております。

## 皆様に愛される病院づくり

これまでを振り返り、立ち止まる事なく邁進してきた『医療法人啓信会』。
今後も、地域の皆様に愛される病院、整形外科に特化した24時間体制の先進医療の提供、患者様のニーズに応じた生活の質を向上させる医療体制を敷き、質の高い医療を提供し、挑戦と成長を続けていきたい所存です。
これからも大阪整形外科病院、中之島いわき整形外科ともに何卒よろしくお願い申し上げます。



# 10周年を迎え、当院の医師より患者様に向けてメッセージ

## 人工関節センター

整形外科医局長
人工関節センター医長
槇（まき）　孝俊（あつとし）　先生

健康寿命という概念もずいぶん世の中に浸透してきましたが、みなさんも元気に長生きしたいと望んでおられることでしょう。日本人の平均寿命は80歳を超えますが、それだけ長生きすれば、関節には長年の生活によるダメージが蓄積し、いつの日にか変形や痛みを伴うようになります。関節は主に骨と軟骨で構成されており、歩けないほど痛みが強くなれば手術が必要となってしまいます。
しかし、骨の老化を止めることは出来なくとも、抑える方法はあります。それが、骨粗しょう症治療です。
健康寿命を伸ばす秘訣は歩くことであり、そのためには「歩けるうちの予防」が大切です。もし、まだ骨粗しょう症診療を受けたことがないのであれば、お知り合いも誘って一緒に骨密度検査を受けに来て下さい。
仲間みんなが姿勢良く、元気であれば、人生がいっそう豊かになると思います。



診察日
【午前】水・木・土[第３週]
【午後】火・木

整形外科
人工関節センター医員
谷口（たにぐち）　慎一（しんいち）　先生

整形外科の谷口と申します。
一般整形をはじめ下肢関節外科を専門としています。
本年で開院１０年を迎えるこの病院で、私は昨年４月に着任し１年が経過しました。着任した時点で、人工膝・股関節置換術ともに大阪１番であり、全国でも上位の手術件数を誇り、熟練の技術をもった尊敬できる岩城院長と槇先生の元で、日々研鑽しております。
まだまだ若輩者の私ですが、『早く治す病院』の信念そして技術を踏襲しながら、診察そして手術、術後のフォローまで『相談しやすい・わかりやすい医師』として、患者様に寄り添った医療を引き続き提供してまいります。



診察日
【午前】火・土[第４週]
【午後】月(14:30～)・火・金

## 脊椎・脊髄病センター

脊椎・脊髄病センター長
脊椎脊髄外科部長
乾（いぬい）　義弘（よしひろ）　先生

2018年4月よりお世話になっています。
脊椎疾患を担当させて頂いています。
今年で６年目になりますが、徐々に症例数も増加しており、ひとえに患者様のご支援の賜物と感じております。
特に高齢化社会を繁栄し、骨粗しょう症に伴う圧迫骨折の患者様が増えているように感じます。ご存知の様に、高齢者の脊椎疾患は難治性であることが多く、治療方針について保存療法、手術療法にかかわらず、日々迷いながら診療に当たっているのが現状です。
この様な状態ですが、引き続き、地域の患者様のご要望に応えられるよう、最大限の努力をしていきたいと思いますので御支援の程、よろしくお願いいたします。



診察日
【午前】月・水・金
　　土[第1週]
【午後】金

## 関節鏡・スポーツ医学センター

整形外科
関節鏡・スポーツ医学センター医長
松川（まつかわ）　哲也（てつや）　先生

大阪整形外科病院と中之島いわき整形外科の双方にて診察をおこなっています。
外来では丁寧な診察を心掛けており、MRIやCT、超音波による正確な診断から、運動療法、ブロック注射、再生医療、体外衝撃波を用いた保存的加療を行っております。
運動選手のスポーツ復帰を応援し、中高年の皆様の運動に対するニーズを支援し、ご高齢の方々の健康保持をサポートさせていただくことを目標としております。
手術は、関節鏡を用いた関節温存手術、腱、靭帯、軟骨の修復に加えスポーツ外傷を含む急性期外傷手術をおこなっております。
常に患者様のご希望を第一に考え、近隣の医療機関と連携をとらせていただきながら、当院だけでの治療に固執することなく希望にそった医療を提供できるよう日々努めております。
医療の進歩に合わせて日常の診療を進化させ、最新かつ確かな医療を提供できるように日々精進してまいります。
病院・クリニックともに診察は電話一本で簡単に予約がとれますので、お困りのことがあれば気軽にご相談いただければ嬉しく思います。



病院の診察日
【午前】月・金
　　土[第2・4]
【午後】月(~15:00)・水

クリニックの診察日
【午前】水(9：30~11:30)
【午後】月・金[第2・4]
　　(16:30～19：00)

## 麻酔科

手術室部長
　兼 麻酔科部長
山下（やました）　智之（ともゆき）　先生



麻酔科の山下智之と申します。
先日、誕生日を迎え60歳になりました。
院長の岩城先生とは、大学の同窓でしてそのご縁で大阪整形外科病院に2016年7月より赴任しました。
身長185㎝（年をとり1㎝ほど低くなっているかもしれません）、体重99㎏(100kgにならないか、恐る恐る体重計に乗っています)、声も大きめです。
手術を受けられる、患者様お一人お一人の、安全かつ一番適した麻酔方法を考え、日々、麻酔科医の仕事を全うしています。
安心して麻酔を受けていただくために、何でもお気軽に質問してください。
ちなみに趣味は、魚釣り(先日、日本海で30cmほどのアマダイを5匹釣りました)、そして自転車(光明池から病院まで自転車で来ることもあります)、映画鑑賞（十三のミニシアターにいくことがあります。多い年は40本見ました）などなど。
そして、美味しいものなら何でも食べます。お酒もよく飲みます。
術後の患者様の様子を見るために、1日1回病棟を回っておりますので、手術の前でも後でも、気になることがあればお声をおかけください。

麻酔科医長
代表専門医
小寺（こてら）　智子（ともこ）　先生

麻酔科では、全3室の手術室にて、全身麻酔を中心として、約1600件の麻酔管理を行っております。
当院には、お子様から100歳を超えるご高齢の方、健康な方から持病をお持ちの方まで、さまざまな患者様がいらっしゃいます。
手術を受けられます際には、全身麻酔、脊椎麻酔や神経ブロックを併用し、可能な限り麻酔による副作用を抑え、合併症のリスクを減らす方法を選び、患者様一人ひとりに合わせた、麻酔をプランし、きめ細やかな麻酔を心がけています。
また、手術麻酔が終了したあとも、副作用、痛みの程度についてデータを取りまとめ、患者様に常に最良の医療を提供できますよう、努力を重ねております。
麻酔に関する疑問や心配事などがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



＼現場で働く!!／

# Part1 職員のご紹介

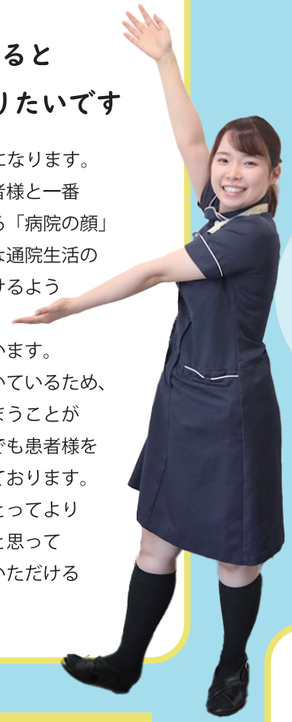
## 10周年を記念して

各部署を代表して1名ずつご紹介!!
どんな○○（職種）になりたいか、
今取り組んでいることやモットーを伺いました！

### いしばし　まりな
### 石橋　満里奈（医事課）

**顔を見ると安心できると**
**思われるような存在になりたいです**

私は当院の医事課で働き始めて３年目になります。医事課は受付業務や会計業務など、患者様と一番接する機会が多いと思います。いわゆる「病院の顔」となる部署に所属しているので、大変な通院生活の中で少しでも安心して通院していただけるよう日頃から笑顔で患者様と接することを心がけながら日々の業務をおこなっています。毎日多くの患者様にご来院していただいているため、どうしても各案内等でお待たせしてしまうことがあると思います。どの様にすれば少しでも患者様をお待たせせずにご案内できるか模索しております。様々な試行錯誤を重ねながら患者様にとってより良い環境づくりに取り組んでいきたいと思っておりますので、どうか温かく見守っていただけると幸いです。



### きしはら
### 岸原　いつき（4階　看護師）

**患者様の不安や痛みに**
**向き合う看護師になりたい！**

入職して間もなく１年が経ち、大阪整形外科病院で働くことにやりがいと楽しさを感じています。私にとって病棟の先輩看護師は心強い存在で、振り返ると、入職初日から毎日教育係として先輩方が、丁寧に指導してくださいました。分からないことや不安があっても、先輩に相談しやすい環境が整っており、自信をもって業務に取り組むことができました。現在は、リーダー業務を任せてもらえるくらいになりました。私が看護師として心がけていることは、患者様の声に耳を傾けることです。どんな時も、患者様とのコミュニケーションの際は、不安や痛みに真摯に向き合うことが何よりも大切だと感じています。これから新しく後輩ができた時に、自身が先輩に指導してもらったように丁寧に、安心して楽しく仕事に取り組めるようサポートしていきたいと思っています。



### おかざき てっぺい
### 岡﨑　哲平（6階　看護師）

**誠実で丁寧な対応を心がけています**

私が看護師を目指した理由は、幼いころ祖母が入院したことがきっかけです。祖母を担当してくださった看護師が痛みや不安に寄り添い、私にも温かい声かけをしてくれたことが印象に残り、そんな看護師になりたいと思いました。以前の職場では、呼吸器内科と整形外科を経験し、整形外科の分野をより深めたいと考え、昨年の４月より働いています。整形外科の入院は痛みを伴うことや、環境の変化でストレスを感じることも多いと思います。患者様が少しでも安心して入院生活を送ることができるよう、誠実で丁寧な対応を心掛け、力が必要な仕事や同性の患者様への対応など男性看護師の強みを活かして従事しております。先日、外来で元気なお姿の患者様に再会し、「あの時は、ありがとうね。岡﨑さんの優しさに心が救われていたのよ」と言われ、本当に嬉しく思いました。今後も男性看護師として、よりスキルアップし皆様のお役に立てるよう精進して参ります。



### こばやし　まい
### 小林　舞衣（栄養科　栄養士）

**患者様の悩みに**
**応えられる栄養士になりたい！**

持病がある方や、医師から減量指導をされている方、術後の患部に負担をかけない為に減量したい方…食事で悩まれている患者様のお話をうかがい、管理栄養士としてのアドバイスをさせて頂いております。私自身、食べる事が大好きです！そのため、減量などで好きな食事を我慢するする際は「食べる量を減らしてください」「我慢してください」ではなく、「その食品ではなくこちらに変えてみてはどうですか？」というような置き換えをできるだけ提案しています。食事改善でのストレスが少しでも軽減できるよう、今後も患者様自身の食生活や好み、環境を考慮したレシピや料理の工夫などを提案していきたいと思っています。



### やの あゆみ
### 矢野　歩（薬剤科　薬剤師）

**患者様・職員に信頼される薬剤師になりたい**

私のモットーは「人に優しく、相手の気持ちになって考えること」です。これは子供の頃同居していた祖父母からよく言われていた言葉で、単純で当たり前のことですが目に見えず、他人に評価されるものではないからこそ大切だと教わりました。患者様の気持ちになって考えることができる薬剤師になりたいと思って日々働いております。術後はどうしても痛みと付き合いながらの入院生活となります。患者様のつらさを少しでも軽減できるよう疼痛コントロールに関して積極的に患者様への薬物療法を提案しています。薬剤師は薬のプロと呼ばれる職種のため、薬に関する知識だけでなく、サプリメントや、健康食品の知識もつけ、患者様や職員からの質問に対して適切な対応ができるよう努めます。



### こはま　たかし
### 小濵　崇士（リハビリテーション部　理学療法士）

**患者様が気兼ねなく何でも**
**相談できる理学療法士になりたい**

リハビリテーション部の小濵と申します。理学療法士として、患者様の日常生活動作獲得、社会復帰や趣味・娯楽活動獲得へのサポートを主に取り組んでいます。患者様によって目標とされる活動が異なるため、患者様一人一人の目標に合わせたリハビリテーションを行うように意識しています。また、目標達成に向けてリハビリテーションをおこなう中で、「痛みが取れるのか？やりたいことができるようになるのか？」といった不安を抱く患者様が多くいらっしゃいます。その際は、患者様に寄り添い、身体機能の改善だけでなく、患者様の現状や、今後の課題などに関して解りやすく説明を行い、少しでも不安が解消できるよう、メンタル面においてもサポートすることを心がけています。現在、院内での業務が基本となっていますが、今後、院内活動だけでなく、スポーツ活動をされている方のサポートにもチャレンジしたいと思います。



＼現場で働く!!／

# Part2 職員のご紹介

引き続きこちらのページにも
キラキラ職員がいっぱい☆！

## ふくい　みずき
## 福井　瑞希（外来　看護師）

**病棟での経験を活かし、**
**外来看護師として患者様をサポートしたい！**



産休前は病棟の看護師として働いていましたが、復帰を機に今年の４月から外来の看護師として勤務しております。同じ病院とはいえ、新しい環境で初めて経験する外来業務と育児の両立は大変ですが、スタッフのサポートのおかげで、充実した毎日を送ることができています。現在は入退院支援（患者様・ご家族様が安心して入院生活を送れるよう、また退院後も療養場所や方法を決定し、可能な限り自立した生活を送れるよう支援すること）も担当しており、一刻も早くチームの戦力となれるよう経験を積んでいるところです。病棟で学んだ、患者様に接するために必要な看護経験を活かし、入院生活が不安にならない入退院支援を行えるよう努めていきます。外来や、これから入院される患者様のサポートをしていけるよう精進して参りますのでよろしくお願いいたします。

## かとう　ゆうこ
## 加藤　裕子
## （検査科　臨床検査技師）

**一日も早く**
**患者様の早期回復のお手伝いをしたい！**



初めまして。今年の６月より検査科で勤務しております、加藤裕子と申します。短大を卒業後、総合病院で１０年程勤務し、出産を機に退職して以来、約１０年ぶりに検査技師として復帰いたしました。ここ数年は、個人医院で働いておりましたが、看護や事務のお手伝いをしたり、リハビリに来られる方と話をしたり、検査技師業務より他の業務をしていた方が多かったように思います。本格復帰は１０数年ぶりで、自分ではすんなり復帰できるかと楽観視しておりましたが、新しいことを覚えるのはなかなか難しく悪戦苦闘しております。現在はまだ見習いの身ですが、一日も早く患者様の早期回復の一助を担えるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## いわお　あやの
## 巖　　理乃（手術室　看護師）

**手術室看護師として笑顔溢れる**
**整形外科のスペシャリストになりたい！**

オペ室看護師の巖と申します。オペ室看護師は患者様に関わる機会が、術前訪問と手術当日と非常に少ないです。その中で私が、取り組んでいることをお話したいと思います。まず、患者様の安全、安心を第一に考えることです。手術は患者様にとって人生の大きなイベントになります。そのイベントに関わるという意識を持ちながら、緊張感のある環境の中でも手術室スタッフと協力し、安全でスムーズな手術を実現しています。
手術室での取り組みの一部としては、タイムアウトの実施、手術手技に関する研修や継続的な勉強を行っています。タイムアウトとは、手術の際、その場にいるスタッフが一斉に手を止めて、患者名・手術法・手術部位等の確認を行う、誤認防止のための取り組みを徹底しています。
そして、私が大切にしていることは、患者様へのコミュニケーションです。術前訪問の際、丁寧かつ分かりやすい説明と患者様の不安を取り除けるようサポートします。短い関わり合いの中ですが、患者様との信頼関係を築き安心して手術に臨めるよう努めています。常に患者様の立場に立ち、患者様の思いに寄り添い笑顔で明るい手術室看護師を目指していきます。



## やましろ　こうた
## 山城　鴻太（放射線科　放射線技師）

**患者様、職員、双方の意思を**
**汲み取ることができる**
**診療放射線技師になる！**

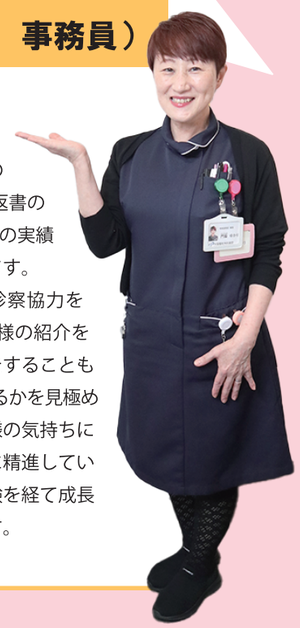
初めまして。入職して５年目の診療放射線技師の山城鴻太と申します。現在、放射線科では、より再現性の高いレントゲン画像を撮影することを目標に業務に取り組んでいます。当院は手術件数が多いこともあり、手術後の定期受診の患者様が日々来院されます。その際、患者様のカルテや、これまでに撮影した過去画像を確認することにより、同様の骨の描き出しを意識し、撮影を行います。経過を見るため比較するにあたり、再現性の高い画像撮影が重要となり、日々研鑽、また技術を勉強しています。
診療放射線技師として、画像撮影の際に、ご自身で動くことが困難な患者様にはその都度移動の補助の方法を変えています。検査する際には医師の検査目的を理解したうえでこの画像はその目的を達成できているだろうかと都度実施し確認しています。このように検査を受ける側と検査する側、両方の意思を汲み取ることで理想の診療放射線技師になれるように取り組んでいます。



## かどわき
## 門脇　ゆかり（地域医療連携室　事務員）

**アンテナ伸ばして即行動！**

地域医療連携室の門脇と申します。医療連携室には３名の医療ソーシャルワーカー（MSW）がおり、私は紹介状・返書の送付管理、紹介受診調整に伴う紹介状の郵送・FAX、毎月の実績データー作成などの事務処理のサポート業務をしております。
地域医療連携室とは、医療機関と情報を共有したり、診察協力をしながら、患者様が適切な医療を受けられるように患者様の紹介を含めサポートする部署です。他部署の応援で患者様対応をすることもあるため、患者様が何をもとめ、何を優先し必要としているかを見極め迅速に行動することが必要だと考えます。より早く患者様の気持ちに答えたいので「アンテナ伸ばして即行動！」をモットーに精進していきます。これまで関わった多くの方のおかげで色々な経験を経て成長できる環境で勤務させていただいており、感謝しています。



## いしたに　みさき
## 石谷　美咲（5階看護師）

**患者様の気持ちに寄り添い、**
**共に歩んでいく看護師になりたい**

５階看護師の石谷と申します。私は今年の４月より手順委員会の委員として、活動しております。手順委員会は、看護の質の改善・向上や、安定・継続した看護を提供することを目標に活動しております。そのため、看護内容を明確にし、指針となる看護基準・手順の見直しを行っています。全ての看護師が共通して活動目標を理解し、看護の向上に努めることで統一のとれた質の高い看護を行うことができると考えています。そのためには、ただ業務を統一することだけではなく、日々スタッフとコミュニケーションを図り、一人一人の意見や考えを取り入れていくことが大切だと考えています。これからも多職種の方との関わりの中で学び、気づきを多く得ながら看護師として成長していけるよう日々努力していきたいです。





大阪整形外科病院

# 入院１週間の献立を紹介します！







7月3日～7月9日の献立です

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 昼食 | 米飯<br>豚の生姜炒め<br>人参味噌金平<br>ポテトの<br>たらこ和え<br>味噌汁 | チキンカレー<br>ミモザサラダ<br>デザート | 米飯<br>鯖のおろし煮<br>里芋白煮<br>練り胡麻和え<br>味噌汁 | 米飯<br>れんこんの<br>挽肉挟み揚げ<br>さつま揚げ<br>わさび和え<br>味噌汁 | ちらし寿司<br>ほっけの塩焼きと<br>野菜の煮付け<br>すまし汁<br>デザート | 米飯<br>豚肉<br>すき焼き風<br>小松菜の辛子和え<br>味噌汁 | 米飯<br>アジの山椒焼き<br>しのだ煮<br>味噌汁 |
| 夕食 | 米飯<br>スペイン風<br>オムレツ<br>野菜ソテー<br>茄子と三つ葉の<br>胡麻和え | 米飯<br>タラの<br>竜田揚げ<br>もやし炒め<br>切干煮 | 米飯<br>蒸し鶏の<br>バンバンジー<br>ひじきサラダ | 米飯<br>メルルーサ<br>（白身魚）の生姜煮<br>さつま芋甘煮<br>中華風サラダ | 米飯<br>八宝菜<br>キャベツの<br>梅肉和え | 米飯<br>擬製豆腐<br>野菜の<br>カレー風味ソテー<br>茄子とピーマンの<br>揚げ浸し | 米飯<br>鶏肉のトマト煮<br>春雨サラダ |

## 当院の食事は院内で調理しています！

当院は院内の地下１階に厨房があり、入院中の食事は
すべて栄養科の職員が作っております。現在、栄養科には、
管理栄養士、調理師、調理補助の合計９名の職員がいます。

院内調理のため、急遽、入院されることになった患者様
にも食事を提供することができます。また、配膳時間に
「おなかの調子が悪いのでお粥にしてほしい」といった
要望にも対応しております。



## 整形外科ならではの食事あり！

普通食のほかに糖尿病食や減塩食など、患者様の疾患に合わせた献立を展開しております。骨折や痛みで入院し、起き上がることができない、利き手が使えないといった患者様が食べやすいよう、爪楊枝に刺した「串さし食」や「おにぎり」といった整形外科ならではの食事形態もご用意しております。

献立は、７月７日は七夕メニュー（ちらし寿司）、夏には冷やし中華を入れるなど行事や季節ごとにメニューを変更しています。
患者様や職員の方々からのご意見やリクエストから取り入れられるものは
献立に反映させていきたいと思ってますので、いつでもお声掛けください！




## 職員も食べてます！

低価格でバランスのとれた食事ができるため、
注文する職員がたくさん！
職員は基本的に、院内の職員ラウンジで
昼食をとっています。
お弁当を持参する職員、売店で購入する職員
などもいます★








## 朝食は…

「パン＋ジャム or
おかゆ＋海苔の佃煮 or たいみそ」に
小鉢とフルーツがつきます！



### 編集担当おぎすのおすすめ

・ミートグラタン
・おからとほうれん草の和え物

病院食といえば薄味の和食というイメージはありませんか？
和食に限らず様々なメニューがあり、その中でも私は
ミートグラタンが好きで、グラタンの日はいつも食堂で頼んでいます。
付合せのおからとほうれん草の和え物にはコーンも入っており、
めんつゆとマヨネーズの味付けがとっても美味しいんです！





はじめまして！編集担当の
荻巣（おぎす）と申します。